

高速道路無料化社会実験 に関するアンケート調査結果



(社)鹿児島県トラック協会

高速道路無料化社会実験に関するアンケート調査結果

社団法人鹿児島県トラック協会

(第1回調査) 平成22年9月3日実施

調査対象：716社（離島を除く会員事業者）

回収数：410社（回収率：57.26%）

(第2回調査) 平成22年10月13日実施

調査対象：304社（高速道路を利用すると回答した事業者を対象にした調査）

回収数：247社（回収率：81.25%）

今回の実験は利用頻度の少ない路線の無料化であるが、通行料金の削減や時間の短縮等のプラスにより「ほとんどが利用した」と回答した。

反面、交通量は自家用車や営業用トラックが多くなったと感じており、混雑や渋滞が発生することによる交通事故の増加や延着、荷主からの運賃値下げや配達時間の繰上げ要請等をマイナス要因とする意見も見受けられた。

また、発表された上限料金制度（案）については、「賛成・どちらかという賛成」が半数を占めており、その理由は「現行料金よりも安くなることともに今後の無料化に繋がることを期待している」ことがうかがわれる。県ト協としてはこの結果を踏まえ、新たな料金制度が発表されるまでは、「基本料金の半額化等の引下げ」や「営業車特別割引制度の創設」もしくは「現行の大口多頻度割引制度の思い切った深堀り」を要望していくこととしている。

●高速道路（無料化実験対象路線も含めた全路線）の利用状況は

- ・74%（410社中304社）が利用していると回答

●無料化対象路線の実験前の利用状況は

- ・鹿児島西IC～市来IC間の利用は33%
- ・加治木IC～財部IC間の利用は33%

●無料化対象路線の実験開始後の利用状況について

- ・鹿児島西IC～市来IC間の利用は45%と12ポイント増加
- ・加治木IC～財部IC間の利用は50%と17ポイント増加

●実験開始後の対象路線の状況は

- ・2区間とも約8割が、「交通量が多くなった」及び「混雑・渋滞するようになった」と回答
- ・その内容について尋ねたところ、
 - ①曜日では、一週間をとおして平均的に多くなったと感じているが、「月曜日が他曜日の約2倍」、次いで「金曜日」となっている。
 - ②時間帯では、「朝・夕の通勤時間帯が多くなった」と感じているが62%となっている。
 - ③車種では、「自家用車」が5.2%、次いで「営業用トラック」の30%となっている。

●無料化実験対象路線に並行する一般道路及び3号線、10号線の交通量については

- ・3号線については、37%が少なくなったと回答
- ・10号線については、33%が少なくなったと回答
- ・その内容について尋ねたところ、
 - ①曜日では、「月曜日が少なくなった」と回答、次いで「金曜日」となっている。
 - ②時間帯では、国道3号線で32.5%、国道10号線で27.8%が「朝・夕の通勤時間帯が少なくなった」と感じている。
 - ③車種については、国道3号線で54.5%、国道10号線で48.2%と「自家用車が少なくなった」と感じている。

●無料化社会実験による影響について

- ・全体の45%が「少なからず影響があった」と回答
- ・「影響があった」について尋ねたところ、直接的な影響として、「混雑・渋滞による延着」が48%と一番多く、次いで間接的な影響として、「荷主からの配達時間の繰上げ要請」が9%、「運賃の引下げ要請」が6%と続いた。

●無料化社会実験のメリット及びデメリットについて

- ①メリットについては、
 - ・「通行料金がかからなくなり経費節減になった」が47%で約半数を占め、次いで「労働時間短縮につながった」が32%と続いた。
- ②デメリットについては、
 - ・「IC出入口付近が混雑した」が33%で、ついで「路線内が混雑・渋滞した」が27%と「渋滞、混雑」を挙げたのが6割を占めた。

●今後、順次拡大される無料化社会実験路線について

- ・「賛成が64%」を占めた。その理由を尋ねたところ、社会実験のメリットと同様、「経費削減につながる」が54%、次いで「労働時間の短縮につながる」が33%と続いた。
- ・「反対の17%」について、その理由を尋ねたところ、「混雑・渋滞する」が69%、次いで「運賃の引下げ要請」が23%と「荷主からの要求を懸念」す

る意見があった。

●今後実施される無料化社会実験の希望区間については、

- ・「幹線の高速道路全部を希望する」が57%を占め、次いで「幹線の高速道路の一部区を希望する」が20%と続いた。
- ・「幹線の高速道路の一部を希望する」について尋ねたところ、各社の輸送区間にも関係してくるが、「県内の区間」と「九州管内の区間を希望する」が多かった。また、高速道路に接続する「指宿スカイライン」や「福岡都市高速道路等の有料道路を希望する」声も多かった。

●今後、拡大が予定される無料化路線に対する政策については、

- ・「営業車は無料で自家用車は現行の体系」を希望するが28%、「営業車は半額で自家用車は現行の体系」を希望するが19%と、約5割の事業者が「営自格差を希望している」ことがうかがわれる。

●上限料金制度（案）について

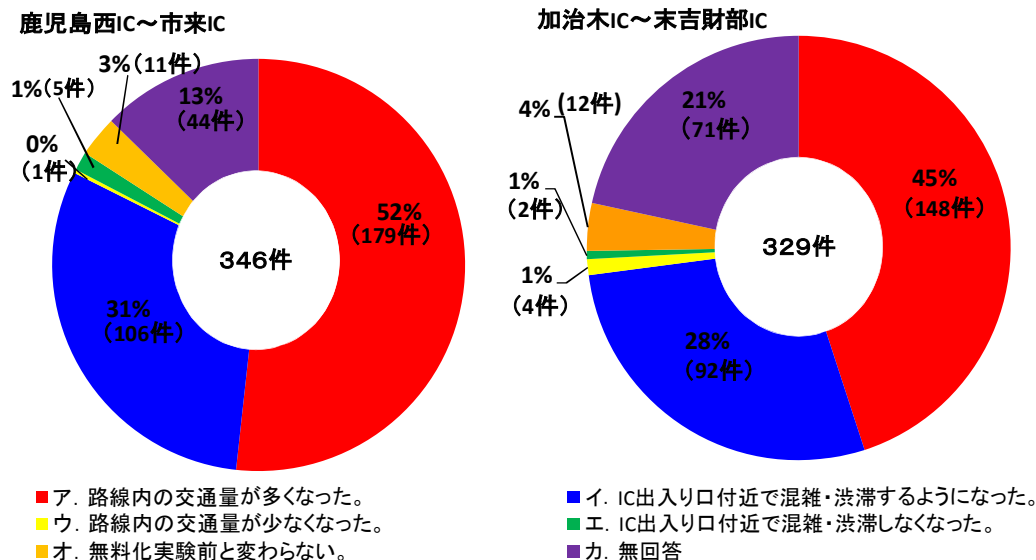
- ・「賛成が56%」、「反対が36%」を占めた。
これは、各社の輸送体系（途中乗降のあり・なし）によっては、プラスにもマイナスにもなる等ははっきりと分かれた。

●高速道路全般について

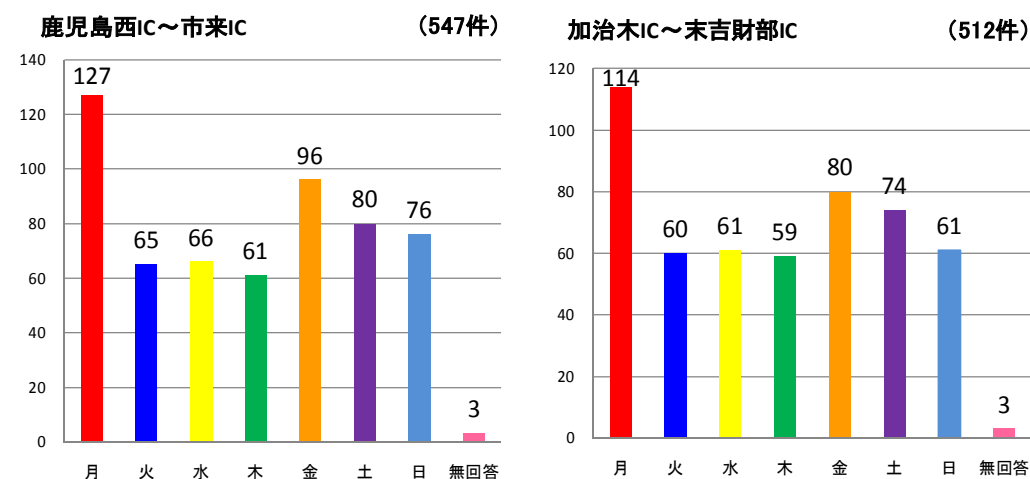
- ・多かった意見としては、
 - ①現行制度の割引率や割引時間帯等の拡大
 - ②全線無料化ではなく、割引率の営自格差を設けてほしい。
 - ③接続する公団等の有料道路も対象にしてほしい。
 - ④大口多頻度割引の存続
 - ⑤全線無料化の反対が寄せられた。

問1・3 県内無料化対象路線を主に利用されている方にお尋ねします。
 社会実験後の路線状況について、どのように感じますか。(複数回答可)

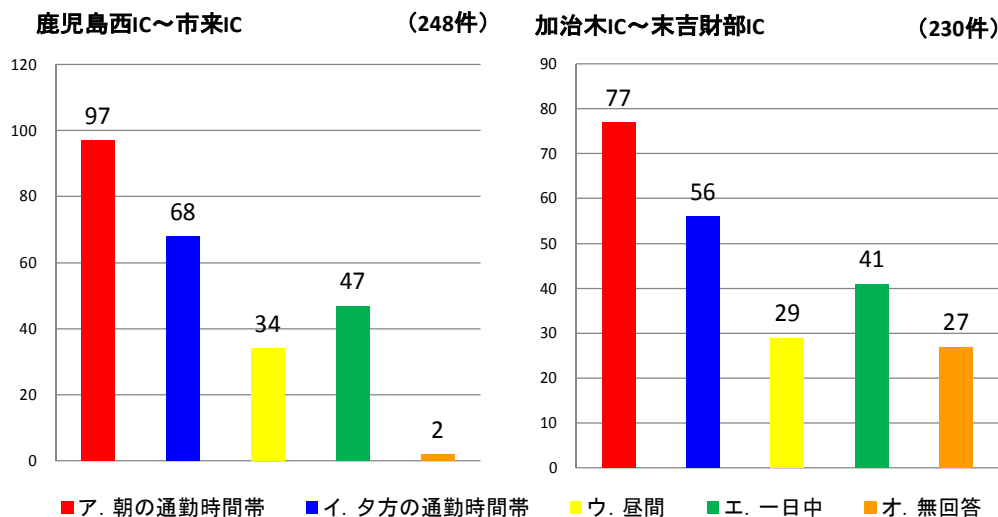
回答数: 247社



●“ア”と回答された方にお尋ねします。
 何曜日が多くなったと感じましたか。(複数回答可)

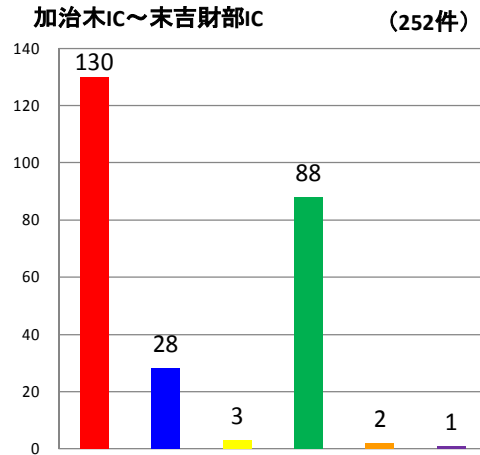
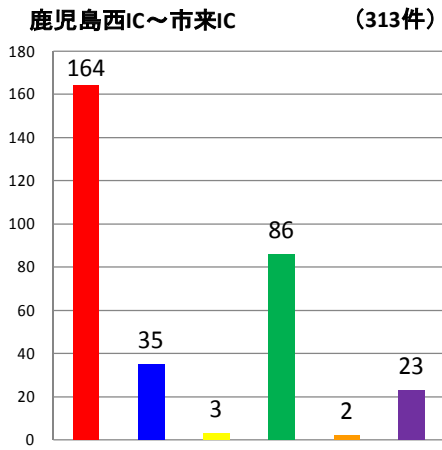


どの時間帯が多くなったと感じましたか。(複数回答可)



どの車種が多くなったと感じましたか。(複数回答可)

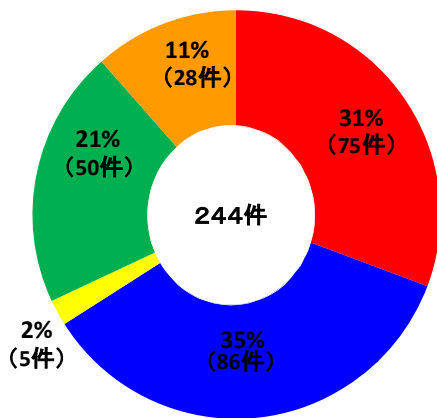
回答数:247社



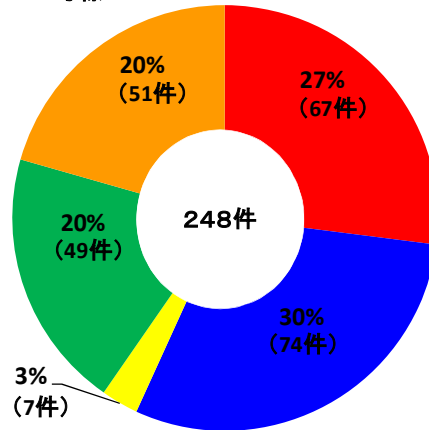
■ア. 自家用車 ■イ. 自家用トラック ■ウ. 自家用バス ■エ. 営業用トラック ■オ. 営業用バス ■カ. 無回答

問2・4 無料化実験対象路線と並行する一般道路及び3号線・10号線の交通量についてどう感じましたか。(複数回答可)

3号線



10号線



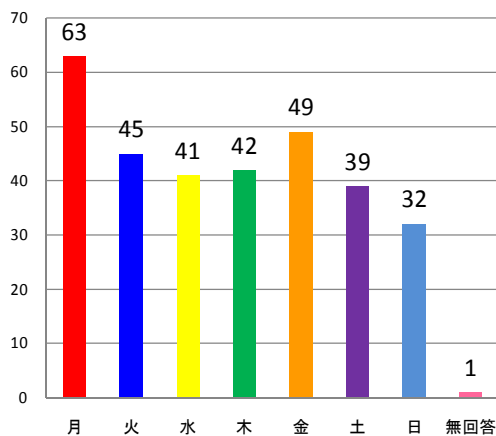
■ア. 変わらない ■イ. 少なくなった ■ウ. 極端に少なくなった ■エ. 分からない ■オ. 無回答

●“イ”または“ウ”と回答された方にお尋ねします。

何曜日が少なくなったと感じましたか。(複数回答可)

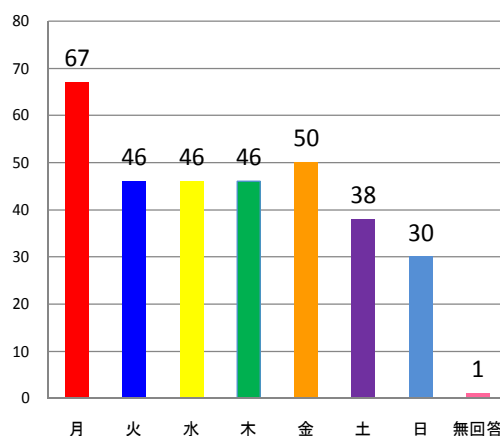
3号線

(312件)



10号線

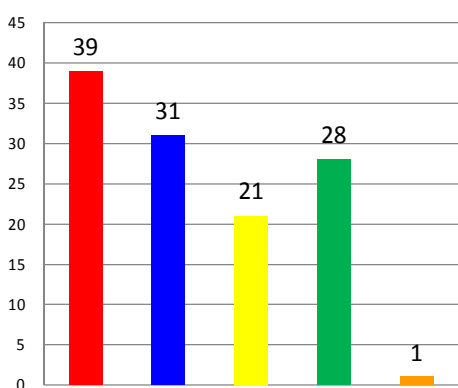
(324件)



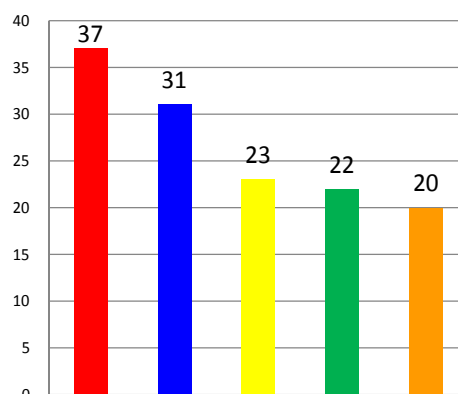
どの時間帯が少なくなったと感じましたか。(複数回答可)

回答数:247社

3号線 (120件)



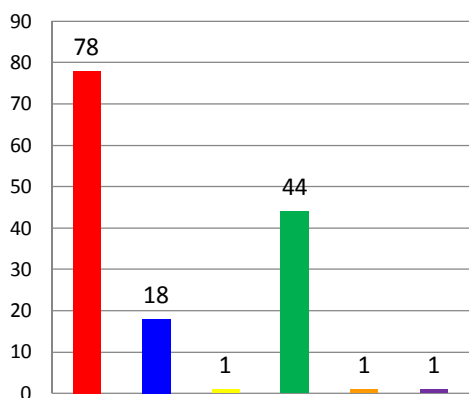
10号線 (133件)



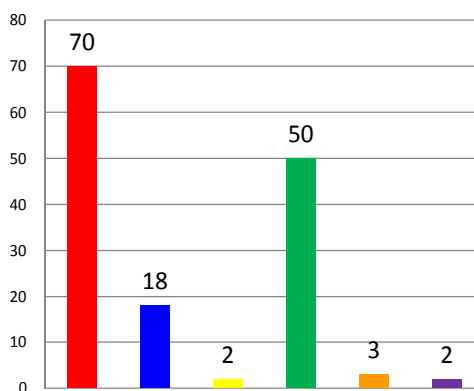
■ ア. 朝の通勤時間帯 ■ イ. 夕方の通勤時間帯 ■ ウ. 昼間 ■ エ. 一日中 ■ オ. 無回答

どの車種が少なくなったと感じましたか。(複数回答可)

3号線 (143件)

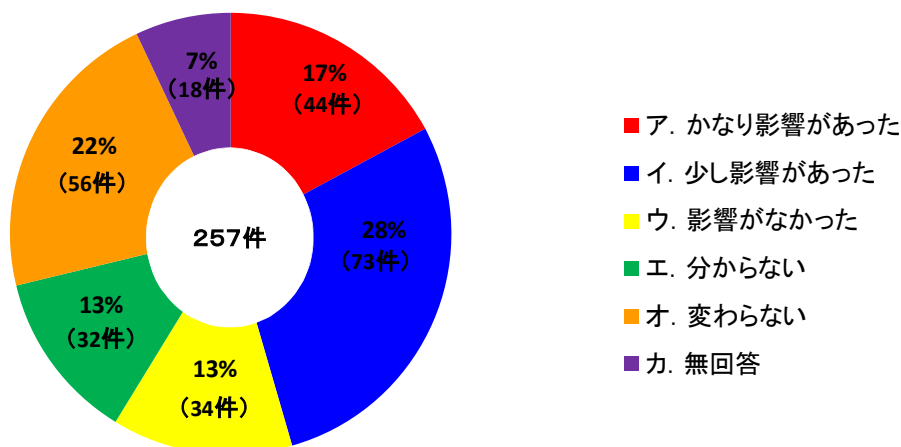


10号線 (145件)

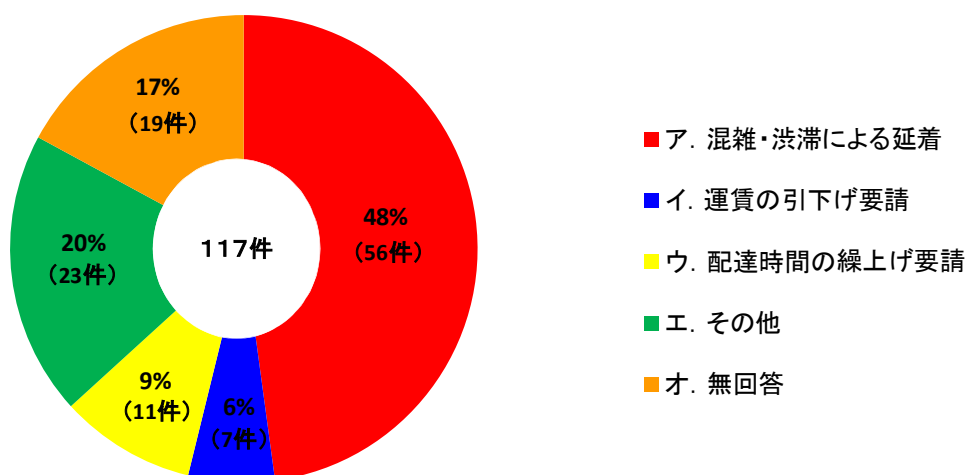


■ ア. 自家用車 ■ イ. 自家用トラック ■ ウ. 自家用バス ■ エ. 営業用トラック ■ オ. 営業用バス ■ オ. 無回答

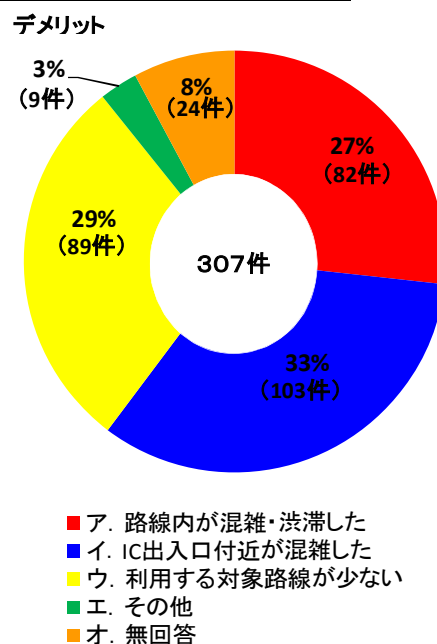
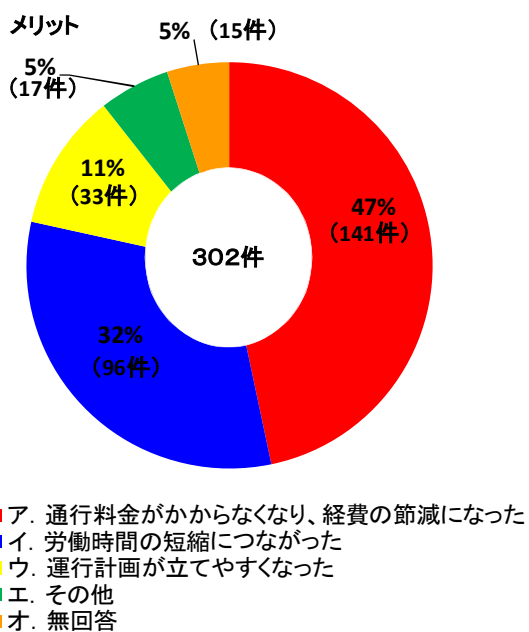
問5 県内無料化対象路線の社会実験により何らかの影響がありましたか。(複数回答可) 回答数:247



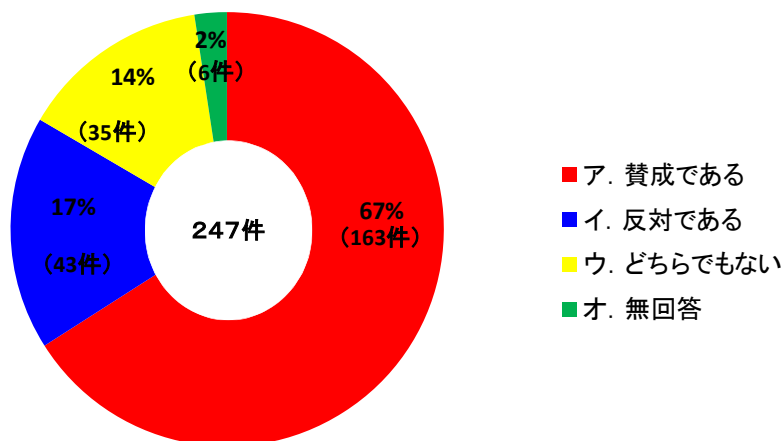
“ア”または“イ”と回答された方にお尋ねします。
影響が大きかったのは何でしたか。(複数回答可)



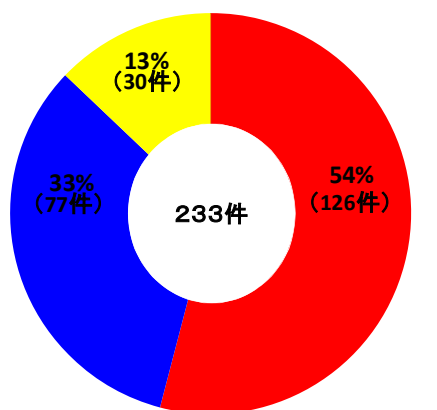
問6・7 無料化社会実験について、メリット・デメリットをどのように感じましたか。(複数回答)



問8 今後、無料化社会実験路線が順次拡大される予定ですが、どのように思いますか。 回答数: 247社

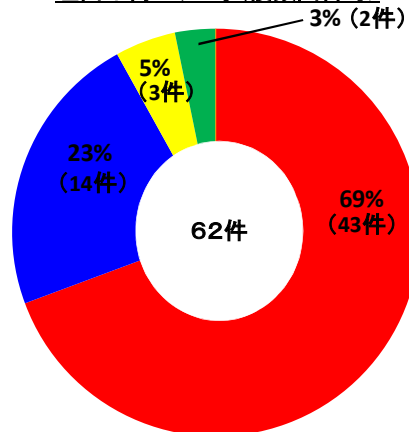


“ア”と回答された方にお尋ねします。
理由は何ですか。(複数回答可)



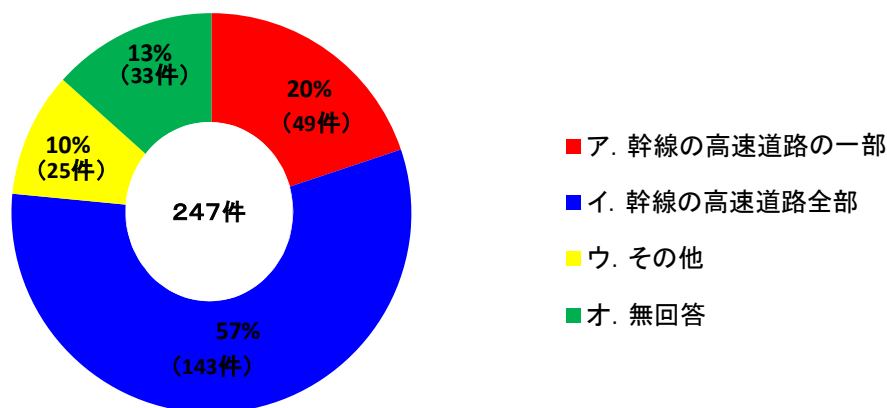
- ア. 高速代がかからなくなり、経費の節減になる
- イ. 労働時間の短縮になる
- ウ. 運行計画が立てやすくなる
- エ. その他
- オ. 無回答

“イ”と回答された方にお尋ねします。
理由は何ですか。(複数回答可)



- ア. 混雑・渋滞
- イ. 運賃の引下げ要請
- ウ. 配達時間の繰上げ要請
- エ. その他
- オ. 無回答

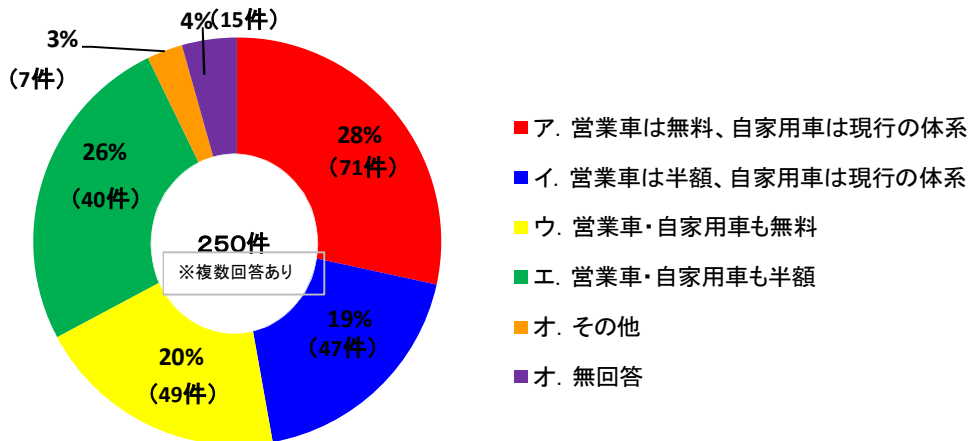
問9 今後、無料化社会実験について、どの区間(路線)を希望しますか。



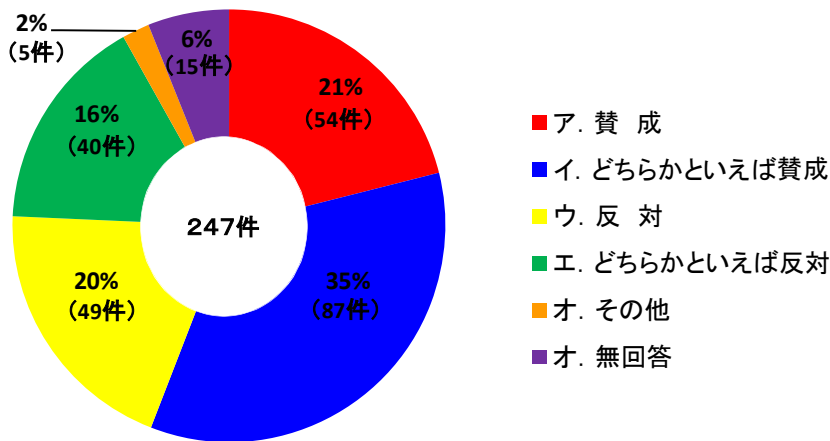
鹿児島～国分、九州自動車道、福岡～八代、山陽自動車道、加治木～鹿児島
 鹿児島～宮崎、鹿児島～東京、鹿児島～福岡、徳山～福山、鹿児島～門司、下関～吹田
 地方区間、福岡～熊本、加治木～末吉財部、鹿児島西～市来、鹿児島～吉田
 鹿児島北～谷山IC、鹿児島北～加治木、鹿児島～八代、都城、宮崎、えびの～八代
 鹿児島～溝辺空港、山田IC～鹿児島IC、指宿スカイライン、鹿児島～始良
 玉名～八代、直方～伊佐、八代～下関

問10 今後、無料化社会実験を経て順次路線が拡大される予定ですが、有料区間についてどのような政策を希望しますか。

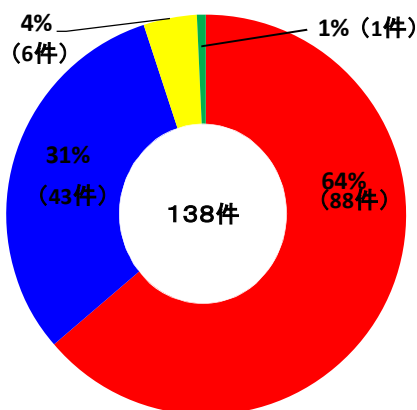
回答数:247社



問11 上限料金制度(案)について、どのように思いますか。

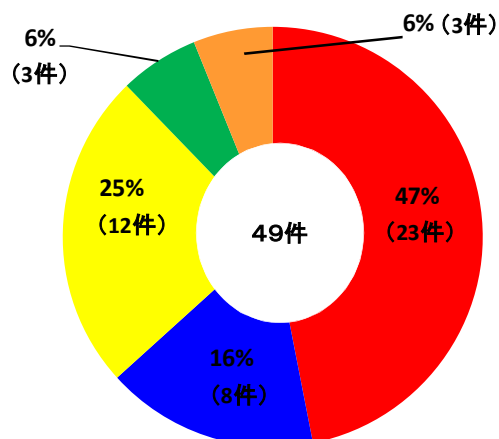


“ア”または“イ”と回答された方にお尋ねします。理由は何ですか。(いずれか1つ)



- ア. 現行より安くなるから
- イ. 今後の無料化に繋がるから
- ウ. その他
- エ. 無回答

“ウ”と回答された方にお尋ねします。理由は何ですか。(いずれか1つ)



- ア. 利用次第では現行より高くなるから
- イ. 運賃の引下げに繋がるから
- ウ. 現行の割引制度の廃止又は縮小を前提としているから
- エ. 接続する他の有料道路を対象外としているから
- オ. その他